

平成 16 年度 決算 説明 資料

株式会社 武蔵野銀行

## 目 次

## 平成16年度決算の概要

1. 概要	単	1 ~ 2
2. 損益状況	単・連	3 ~ 4
3. 業務純益	単	4
4. 利鞘	単	5
5. 有価証券関係損益	単	5
6. 自己資本比率	単・連	6
7. ROE	単	6

## 貸出金等の状況

1. 自己査定と償却・引当基準		7
2. リスク管理債権の状況	単・連	8
3. 貸倒引当金の状況	単・連	9
4. リスク管理債権に対する保全率	単	9
5. 金融再生法開示債権	単	10
6. 金融再生法開示債権の保全状況	単	10
参考 金融再生法の開示債権とリスク管理債権の状況	単	11
7. 業種別貸出金状況等		
業種別貸出金	単	12
業種別リスク管理債権	単	12
業種別リスク管理債権の貸出金残高比率	単	13
個人ローン残高	単	13
中小企業等貸出金比率	単	13

## 平成16年度決算の概要

1. 概要【単体】  
財務状況等

(単位:百万円)

	平成17年3月期	平成16年3月期比	平成16年3月期
	経常収益(a)	63,730	1,967
経常費用(b)	48,884	331	49,215
業務粗利益	52,619	2,390	50,229
資金利益	47,819	1,698	46,121
役務取引等利益	4,820	188	4,632
その他業務利益	19	506	525
債券5勘定戻	1,281	424	1,705
経費(除く臨時処理分)( )	33,246	1,023	32,223
実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	19,373	1,368	18,005
コア業務純益	20,654	944	19,710
一般貸倒引当金繰入額( )	709	748	39
業務純益	18,663	618	18,045
臨時損益	3,817	1,680	5,497
不良債権処理損失( )	3,998	238	4,236
株式3勘定戻	1,356	944	412
株式等償却( )	1,104	607	497
経常利益(a)-(b)	14,846	2,299	12,547
特別損益	895	134	1,029
税引前当期純利益	13,950	2,432	11,518
法人税、住民税及び事業税( )	4,400	4,096	304
法人税等調整額( )	1,492	3,593	5,085
当期純利益	8,057	1,930	6,127
自己資本比率	9.27%	0.05%	9.32%
年間配当	50円	-	50円

(注)コア業務純益とは、業務純益に対し一般貸倒引当金繰入額と債券5勘定戻を加減調整したものの。

- (1)本業収益力を表すコア業務純益は、貸出金の増加や預り資産の販売好伸を主因に、通期ベースで初の200億円台乗せとなる206億54百万円、3年連続して過去最高益を更新いたしました。
- (2)一般貸倒引当金は要注意先の引当増等により7億円の繰入れとなりました。
- (3)不良債権処理費用は、債務者区分の見直し等による引当増があったものの、取引先支援の効果によりランクアップに伴う取崩しがあったため40億円弱と、前年比2億円の減少となりました。
- (4)債券価格の上昇や有価証券ポートフォリオの改善効果から3月末時点の有価証券評価損益は、前年比54億円増の181億円の益超となりました。
- (5)自己資本比率は、貸出金の伸長を主因とするリスクアセットの増加から、前年比ではマイナスの0.05%となりましたが、自己資本額は利益計上による内部留保の積上げから、前年比59億円増加(16年3月末1,379億円、17年3月末1,438億円)しております。
- (6)期末配当金は1株当たり25円(年間50円)といたします。

## 主要勘定の状況

## ア. 貸出金

(単位:億円、%)

	平成17年3月期	平成16年3月期比	平成16年3月期
		(年間増加率)	
期末残高	20,896	1,420 (7.3)	19,476
平均残高	20,006	1,292 (6.9)	18,714

貸出金につきましては、地元県内企業及び個人のお客様のニーズにお応えすべく積極的に取り組み、健全で良質な貸出金の増強に努めました結果、中小企業向け、個人向けともに順調に増加し、当期末の貸出金残高は前年比1,420億円(年率+7.3%)増加し、2兆896億円となりました。

## イ. 預金

(単位:億円、%)

	平成17年3月期	平成16年3月期比	平成16年3月期
		(年間増加率)	
期末残高	28,045	924 (3.4)	27,121
平均残高	27,485	997 (3.8)	26,488

預金につきましても、個人・法人ともに順調に増加し、当期末の預金残高は、前年比924億円(年率+3.4%)増加し、2兆8,045億円となりました。

## (参考)預り資産

また、投資信託などの預り資産残高は前年比75.3%増と好伸しましたので、預金と預り資産を合算した調達合計は、前年比6.7%の増加となりました。

(単位:億円、%)

	平成17年3月期	平成16年3月期比	平成16年3月期
		(年間増加率)	
投資信託残高	882	218 (32.8)	664
年金保険残高	337	146 (76.4)	191
国債残高	1,046	609 (139.4)	437
預り資産残高	2,265	973 (75.3)	1,292
預金+預り資産	30,310	1,897 (6.7)	28,413

## 2. 損益状況【単体】

(単位:百万円)

	平成17年3月期		平成16年3月期
		平成16年3月期比	
業務粗利益	52,619	2,390	50,229
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	53,901	1,967	51,934
国内業務粗利益	51,366	3,096	48,270
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	52,519	1,999	50,520
資金利益	46,670	1,643	45,027
役務取引等利益	4,752	186	4,566
その他業務利益	57	1,266	1,323
(うち国債等債券損益)	1,153	1,097	2,250
国際業務粗利益	1,253	705	1,958
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	1,382	31	1,413
資金利益	1,148	54	1,094
役務取引等利益	67	2	65
その他業務利益	37	761	798
(うち国債等債券損益)	128	673	545
経費(除く臨時処理分)( )	33,246	1,023	32,223
人件費( )	17,880	464	17,416
物件費( )	13,713	347	13,366
税金( )	1,652	212	1,440
実質業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	19,373	1,368	18,005
コア業務純益	20,654	944	19,710
一般貸倒引当金繰入額( )	709	748	39
業務純益	18,663	618	18,045
うち国債等債券損益(5勘定戻)	1,281	424	1,705
臨時損益	3,817	1,680	5,497
不良債権処理損失( )	3,998	238	4,236
貸出金償却( )	210	238	448
個別貸倒引当金繰入額( )	3,422	46	3,468
債権売却損失引当金繰入額( )	-	20	20
延滞債権売却損( )	366	68	298
(貸倒償却引当費用 + )	4,707	511	4,196
株式等関係損益	1,356	944	412
株式等売却益	2,557	559	1,998
株式等売却損( )	96	991	1,087
株式等償却( )	1,104	607	497
その他臨時損益	1,175	499	1,674
経常利益	14,846	2,299	12,547
特別損益	895	134	1,029
うち動産不動産処分損益	96	301	397
動産不動産処分益	24	21	3
動産不動産処分損( )	120	281	401
うち会計基準変更時差異( )	813	0	813
税引前当期純利益	13,950	2,432	11,518
法人税、住民税及び事業税	4,400	4,096	304
法人税等調整額	1,492	3,593	5,085
当期純利益	8,057	1,930	6,127

【連結】

(単位:百万円)

	平成17年3月期	平成16年3月期比	
		平成16年3月期	平成16年3月期
連結粗利益	54,657	2,488	52,169
資金利益	47,949	1,681	46,268
役務取引等利益	6,132	296	5,836
その他業務利益	575	510	65
営業経費( )	34,983	326	34,657
不良債権処理損失( )	5,921	393	5,528
貸出金償却( )	564	98	466
個別貸倒引当金繰入額( )	4,249	414	4,663
一般貸倒引当金繰入額( )	741	662	79
債権売却損失引当金繰入額( )	-	20	20
延滞債権売却損( )	366	68	298
株式等関係損益	1,358	958	400
その他	1,164	236	928
経常利益	16,276	2,963	13,313
特別損益	800	256	1,056
税金等調整前当期純利益	15,475	3,219	12,256
法人税、住民税及び事業税( )	4,704	4,188	516
法人税等調整額( )	1,508	3,848	5,356
少数株主利益( )	632	465	167
当期純利益	8,631	2,415	6,216

(注)連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

## 3. 業務純益【単体】

(単位:百万円)

	平成17年3月期	平成16年3月期比	
		平成16年3月期	平成16年3月期
(1) 実質業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	19,373	1,368	18,005
職員一人当たり(千円)	9,986	767	9,219
(2) 業務純益	18,663	618	18,045
職員一人当たり(千円)	9,620	381	9,239

(注)職員数は期中平均人員を使用しております。

## 4. 利鞘【単体】

## (1) 全体

(単位:%)

	平成17年3月期	平成16年3月期	
		平成16年3月期比	平成16年3月期
(1) 資金運用利回 (A)	1.77	0.01	1.76
(イ) 貸出金利回	2.10	0.07	2.17
(ロ) 有価証券利回	1.22	0.01	1.21
(2) 資金調達原価 (B)	1.25	0.01	1.26
(イ) 預金等利回	0.02	0.01	0.03
(ロ) 外部負債利回	1.83	0.25	1.58
(3) 総資金利鞘 (A) - (B)	0.52	0.02	0.50

## (2) 国内部門

(単位:%)

	平成17年3月期	平成16年3月期	
		平成16年3月期比	平成16年3月期
(1) 資金運用利回 (A)	1.73	0.00	1.73
(イ) 貸出金利回	2.10	0.08	2.18
(ロ) 有価証券利回	1.13	0.00	1.13
(2) 資金調達原価 (B)	1.24	0.01	1.25
(イ) 預金等利回	0.02	0.01	0.03
(ロ) 外部負債利回	1.83	0.10	1.73
(3) 総資金利鞘 (A) - (B)	0.49	0.01	0.48

## 5. 有価証券関係損益【単体】

(単位:百万円)

	平成17年3月期	平成16年3月期	
		平成16年3月期比	平成16年3月期
(1) 国債等債券損益 (5 勘定戻)	1,281	424	1,705
(イ) 売却益	843	208	1,051
(ロ) 償還益	1	3	4
(ハ) 売却損 ( )	1,687	439	1,248
(ニ) 償還損 ( )	439	1,073	1,512
(ホ) 償却 ( )	-	-	-
(2) 株式等損益 (3 勘定戻)	1,356	944	412
(イ) 売却益	2,557	559	1,998
(ロ) 売却損 ( )	96	991	1,087
(ハ) 償却 ( )	1,104	607	497

## 6. 自己資本比率

【単体】

(単位:百万円)

	平成17年3月期	平成16年3月期比	
		平成16年3月期	平成16年3月期
(1) 自己資本比率	9.27%	0.05%	9.32%
(2) 基本的項目	101,063	5,442	95,621
(3) 補完的項目	42,863	447	42,416
(イ) うち土地の再評価額と再評価の直前の帳簿価額の差額の45%相当額	5,668	95	5,763
(ロ) うち一般貸倒引当金	9,694	541	9,153
(ハ) うち劣後ローン	27,500	-	27,500
(4) 控除項目	101	-	101
(5) 自己資本 (2) + (3) - (4)	143,825	5,889	137,936
(6) リスク・アセット	1,551,097	72,423	1,478,674

【連結】

(単位:百万円)

	平成17年3月期	平成16年3月期比	
		平成16年3月期	平成16年3月期
(1) 自己資本比率	9.34%	0.01%	9.33%
(2) 基本的項目	104,070	6,516	97,554
(3) 補完的項目	42,997	488	42,509
(イ) うち土地の再評価額と再評価の直前の帳簿価額の差額の45%相当額	5,668	95	5,763
(ロ) うち一般貸倒引当金	9,828	582	9,246
(ハ) うち劣後ローン	27,500	-	27,500
(4) 控除項目	101	-	101
(5) 自己資本 (2) + (3) - (4)	146,966	7,004	139,962
(6) リスク・アセット	1,572,589	73,355	1,499,234

## 7. ROE【単体】

(単位:%)

	平成17年3月期	平成16年3月期比	
		平成16年3月期	平成16年3月期
実質業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)ベース	16.71	0.08	16.79
業務純益ベース	16.10	0.73	16.83
当期純利益ベース	6.95	1.24	5.71

(注) 分母となる株主資本平均残高は、(期首資本の部 + 期末資本の部) ÷ 2を使用しております。



## 貸出金等の状況

## 1. 自己査定と償却・引当基準

## (1) 自己査定

「金融検査マニュアル」等に準拠した「自己査定基準」に則り、債務者区分及び資産分類を厳格に実施しております。

## 債務者区分

正常先	業況が良好であり、かつ財務内容に特段の問題がない先
要注意先	今後の管理に注意を要する先
破綻懸念先	現状は経営破綻の状況にはないが、今後、経営破綻に陥る可能性の高い先
実質破綻先	法的・形式的な経営破綻の事実は発生していないが、実質的に経営破綻に陥っている先
破綻先	法的・形式的に経営破綻の事实在発生している先

## (2) 償却・引当基準

日本公認会計士協会の実務指針及び金融検査マニュアル等に準拠した「償却・引当基準」を制定し、自己査定結果に基づいた償却・引当を実施しております。

## 一般貸倒引当金

	引 当 基 準
正常先債権	今後1年間の予想損失額を貸倒実績率により算出し、一般貸倒引当金に計上
要注意先債権	要管理先債権(3カ月以上延滞債権もしくは貸出条件緩和債権のある要注意先債権)と要管理先債権以外の要注意先債権を区分し、その区分毎に今後の一定期間における予想損失額を一般貸倒引当金に計上
要管理先債権	今後3年間の予想損失額を貸倒実績率により算出し、一般貸倒引当金に計上
要管理先債権 以外の要注意 先債権	今後1年間の予想損失額を貸倒実績率により算出し、一般貸倒引当金に計上

## 個別貸倒引当金

	償 却 ・ 引 当 基 準
破綻懸念先債権	担保・保証等により保全のない部分のうち、今後3年間の予想損失額を貸倒実績率により算出し、個別貸倒引当金に計上
実質破綻先債権	予想損失額(担保・保証等により保全のない部分の全額)を個別貸倒引当金に計上もしくは貸倒償却
破綻先債権	

## 2. リスク管理債権の状況

- ・12年中間期より部分直接償却を実施
- ・未収利息不計上基準：自己査定基準

【単体】

(単位:百万円)

		平成17年3月期	平成16年3月期比	平成16年3月期
リスク管理債権	破綻先債権額	1,785	1,922	3,707
	延滞債権額	48,859	11,740	60,599
	3ヶ月以上延滞債権額	175	76	99
	貸出条件緩和債権額	29,423	7,917	37,340
	合計	80,242	21,503	101,745
(部分直接償却額)		(14,205)	(533)	(14,738)
貸出金残高(未残)		2,089,619	142,004	1,947,615

(単位:%)

貸出金残高比率	破綻先債権額	0.08	0.11	0.19
	延滞債権額	2.33	0.78	3.11
	3ヶ月以上延滞債権額	0.00	0.00	0.00
	貸出条件緩和債権額	1.40	0.51	1.91
	合計	3.84	1.38	5.22

【連結】

(単位:百万円)

		平成17年3月期	平成16年3月期比	平成16年3月期
リスク管理債権	破綻先債権額	3,051	2,650	5,701
	延滞債権額	49,893	11,225	61,118
	3ヶ月以上延滞債権額	175	76	99
	貸出条件緩和債権額	31,458	8,339	39,797
	合計	84,578	22,138	106,716
(部分直接償却額)		(16,672)	(1,789)	(18,461)
貸出金残高(未残)		2,078,213	140,926	1,937,287

(単位:%)

貸出金残高比率	破綻先債権額	0.14	0.15	0.29
	延滞債権額	2.40	0.75	3.15
	3ヶ月以上延滞債権額	0.00	0.00	0.00
	貸出条件緩和債権額	1.51	0.54	2.05
	合計	4.06	1.44	5.50

## 3. 貸倒引当金の状況

【単体】

(単位:百万円)

	平成17年3月期		平成16年3月期
		平成16年3月期比	
貸倒引当金	19,982	3,177	23,159
一般貸倒引当金	9,862	709	9,153
個別貸倒引当金	10,119	3,887	14,006

【連結】

(単位:百万円)

	平成17年3月期		平成16年3月期
		平成16年3月期比	
貸倒引当金	22,835	2,929	25,764
一般貸倒引当金	9,987	741	9,246
個別貸倒引当金	12,847	3,671	16,518

## 4. リスク管理債権に対する保全率

【単体】

(単位:百万円、%)

		平成17年3月期		平成16年3月期
			平成16年3月期比	
リスク管理債権	(A)	80,242	21,503	101,745
担保等保全額	(B)	53,267	10,263	63,530
対象貸倒引当金残高	(C)	12,010	4,822	16,832
引当率	$(C) / (A - B)$	44.52	0.48	44.04
保全率	$(B + C) / (A)$	81.35	2.37	78.98

## 5. 金融再生法開示債権

【単体】

(単位:百万円)

	平成17年3月期	平成16年3月期比	平成16年3月期
	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	15,307	3,587
危険債権	36,121	10,129	46,250
要管理債権	29,598	7,868	37,466
合計 (A)	81,026	21,584	102,610

総与信残高 (B)	2,118,316	141,377	1,976,939
-----------	-----------	---------	-----------

(単位:%)

総与信残高比率 (A) / (B)	破産更生債権及びこれらに準ずる債権	0.72	0.23	0.95
	危険債権	1.70	0.63	2.33
	要管理債権	1.39	0.50	1.89
	合計	3.82	1.37	5.19

(注) 破産更生債権及びこれらに準ずる債権  
危険債権  
要管理債権

破綻先債権及び実質破綻先債権  
破綻懸念先債権  
要注意先債権のうち3カ月以上延滞債権及び貸出条件  
緩和債権に該当する債権

## 6. 金融再生法開示債権の保全状況

【単体】

(単位:百万円、%)

	平成17年3月期	平成16年3月期比	平成16年3月期
	保全額 (C)	65,910	15,137
貸倒引当金	12,617	4,781	17,398
担保等保全額	53,293	10,356	63,649

保全率 (C)/(A)	81.34	2.36	78.98
-------------	-------	------	-------

(注) 貸倒引当金には、要管理債権に対する一般貸倒引当金を含めております。

&lt; 参考 &gt;

## 金融再生法の開示債権とリスク管理債権の状況【単体】

(単位:百万円)

(単位:百万円)

自己査定結果 (債務者区分別) 対象:貸出金等 与信関連債権		金融再生法の開示基準 対象:貸出金等与信関連債権 保全率は担保・引当を考慮したもの				リスク管理債権 対象:貸出金		
区 分		区 分	担保・保証に よる保全額	引当額	保全率 (%)	区 分	残 高	
破綻先債権		破産更生債権及び これらに準ずる債権	13,612	1,695	100.00	破綻先債権	1,785	
実質破綻先債権						15,307	延滞債権	48,859
破綻懸念先債権		危険債権	23,278	8,365	87.60	3ヶ月以上 延滞債権	175	
要 注 意 先 債 権	要管理先債権	要管理債権	16,403	2,557	64.06	貸出条件 緩和債権	29,423	
	要管理先以外の 要注意債権	(小計 81,026)	53,293	12,617	81.34	合 計	80,242	
正常先債権		正常債権	(注)要管理債権の引当は一般貸倒引当金					
		2,037,290						
		(合計2,118,316)						

開示基準 ・ 金融再生法の開示債権

自己査定により区分された債務者単位で開示  
ただし、要管理債権は債権単位で開示

・ 銀行法のリスク管理債権

貸出金単位で開示  
破綻先債権、延滞債権は未収利息を不計上とした  
貸出金を対象としています。

7. 業種別貸出金状況等  
業種別貸出金【単体】

(単位:百万円)

	平成17年3月期	平成16年3月期比	平成16年3月期
国内店分(除く特別国際金融取引勘定)	2,089,619	142,004	1,947,615
製造業	269,388	8,010	261,378
農業	4,302	1,094	5,396
林業	128	73	201
漁業	14	24	38
鉱業	4,843	110	4,733
建設業	153,286	12,935	166,221
電気・ガス・熱供給・水道業	9,708	1,138	10,846
情報通信業	5,338	5,111	10,449
運輸業	72,890	5,170	67,720
卸売・小売業	229,623	8,286	221,337
金融・保険業	102,912	680	102,232
不動産業	178,936	24,173	154,763
各種サービス業	216,407	12,384	204,023
地方公共団体	41,952	2,023	39,929
その他	799,892	101,543	698,349

## 業種別リスク管理債権【単体】

(単位:百万円)

	平成17年3月期	平成16年3月期比	平成16年3月期
国内店分(除く特別国際金融取引勘定)	80,242	21,503	101,745
製造業	12,380	3,205	15,585
農業	363	178	541
林業	-	-	-
漁業	-	-	-
鉱業	-	-	-
建設業	7,900	1,672	9,572
電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-
情報通信業	359	42	317
運輸業	4,077	1,163	2,914
卸売・小売業	10,253	4,382	14,635
金融・保険業	173	513	686
不動産業	19,916	574	20,490
各種サービス業	11,415	6,410	17,825
地方公共団体	-	-	-
その他	13,406	5,774	19,180

## 業種別リスク管理債権の貸出金残高比率【単体】

(単位:%)

	平成17年3月期	平成16年3月期比	平成16年3月期
	国内店分(除く特別国際金融取引勘定)	3.84	1.38
製造業	4.59	1.37	5.96
農業	8.43	1.59	10.02
林業	-	-	-
漁業	-	-	-
鉱業	-	-	-
建設業	5.15	0.60	5.75
電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-
情報通信業	6.72	3.69	3.03
運輸業	5.59	1.29	4.30
卸売・小売業	4.46	2.15	6.61
金融・保険業	0.16	0.51	0.67
不動産業	11.13	2.10	13.23
各種サービス業	5.27	3.46	8.73
地方公共団体	-	-	-
その他	1.67	1.07	2.74

## 個人ローン残高【単体】

(単位:百万円)

	平成17年3月期	平成16年3月期比	平成16年3月期
	消費者ローン残高	746,400	106,165
うち 住宅ローン残高	605,493	96,868	508,625
うち その他ローン残高	140,907	9,297	131,610

## 中小企業等貸出金比率【単体】

(単位:%)

	平成17年3月期	平成16年3月期比	平成16年3月期
	中小企業等貸出金比率	84.69	1.45